

安城発！大玉・高糖度の梨

安城梨「甘ひびき」収穫スタート！

【7月下旬／安城市内で収穫風景をご紹介します】

J Aあいち中央梨生産部会（部会長：加藤浩）が栽培する安城梨「甘ひびき」の収穫が、7月下旬から始まります。「甘ひびき」は、同部会の部会員である安城市の猪飼孝志さんが育成（開発）したものです。大玉で糖度が高いことが最大の特長です。

同部会では、今年14トンの出荷を予定。当J Aのファーマーズマーケットでんまあと安城北部・安城中部・安城西部の3店舗で、7月下旬から8月上旬まで販売します。2017年からは安城市のふるさと納税の返礼品として提供しています。

今年は、4月上旬の授粉時期の気温が高く、良好に着果。病害虫による大きな被害もなく、順調に生育しています。7月の天候次第ですが、大玉で高品質なナシの出荷が予想されます。



一つ一つ丁寧に収穫します

「甘ひびき」とは

「甘ひびき」は、安城市橋目町の猪飼孝志さんが極早生品種の梨「愛甘水」をもとに育成し、2010年3月に品種登録されました。（「愛甘水」も猪飼さんが育成した梨です）

<「甘ひびき」の魅力>

- ・「幸水」よりも大玉で、大きいものでは800g以上
- ・糖度は高いもので13度以上あり、甘味が強い
- ・水分量が多く、シャキシャキとした食感



たわわに実る「甘ひびき」

J Aあいち中央梨生産部会

部 会 員：75人（内、甘ひびき栽培農家47人）

栽培面積：約34.2ヘクタール（内、甘ひびきは約2.2ヘクタール）

総出荷量：約107トン（内、甘ひびきは約12.3トン）（2024年度実績）

流通先：甘ひびきの多くは、当J Aの、でんまあと安城北部・でんまあと安城中部・でんまあと安城西部で販売します。甘ひびき以外の梨は、中京市場を通じて愛知県と岐阜県を中心に販売される他、当J Aの産直店舗でも販売します。

<メディア対応日>

日 時：2025年7月下旬

集合場所：J Aあいち中央総合センター（予定）

（安城市赤松町浄善50）

※取材当日は、安城市内の梨（甘ひびき）園（車で約15分移動）で収穫風景の撮影と生産者へのインタビューを予定しています。

※防犯上の都合により、場所が特定される外観の撮影、町名の表記等はお控えください。

※天候や作業状況等により、日時・集合場所が変更になる場合があります。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

J Aあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：山村、杉浦、細井）

TEL：0566-73-5504／携帯：080-3667-3853／E-mail：kouhou@jaac.or.jp